

マイノリティとマジョリティのディスコミュニケーション研究会 (MMD研)

代表者:先端総合学術研究科一貫制博士課程5回生 澤岡友輝 教員責任者:立岩真也

◆研究会の概要

ディスコミュニケーション（コミュニケーションとして機能しているが、両者の平等が保てていない状態）の事例を通して、コミュニケーションとはどのような行為／現象なのかについて考えていきます。

聴者とろう者、健常者と障害者（盲ろう者・高次脳機能障害者など）、日本語母語話者と非日本語母語話者などのように多数派と少数派のコミュニケーションには方法や形態の異なりが存在します。そこでは、マジョリティ側の方法に強制させられたり、情報アクセスの制限や自分の思いや意見を述べる機会の減少など、マイノリティが抑圧されたりしてしまふことがあります。マイノリティとマジョリティのコミュニケーションにおいて、自己決定がどのようになされているのか、社会の構成員としてどのように主体的に参加しているのか考えていきます。

◆勉強会

毎月行う研究会では、論文の構想、調査の方法、調査内容、調査の分析など、論文などにまとめるための相談・ディスカッションを行います。

2023年

4月：生存学研究センター客員研究員による研究発表

5月：メンバーによる研究報告・発表（ZOOM）

6月：メンバーによる研究報告・発表（ZOOM）

7月：メンバーによる研究報告・発表（ZOOM）

8月：輪読会（1）（ZOOM）盲ろう者について学習

柴崎美穂, 2017,

『中途盲ろう者のコミュニケーション変容——人生の途上で「光」と「音」を失っていった人たちとの語り』

10月：輪読会（2）（ZOOM）失語症について学習
書籍未定,

2023年4月号『脳に何かがあったとき』（失語症特集）

12月：メンバーによる研究報告・発表（ZOOM）

2024年

1月：メンバーによる研究報告・発表（ZOOM）

2月：メンバーによる報告・発表（ZOOM）

◆ゲスト招聘公開研究会

2023年9月30日14:00～16:00：福田暁子氏の講演（ZOOM開催・立命館大学生存学研究所共催予定）

東京在住の盲ろう者。社会福祉士。内閣府障害者政策委員会委員、立教大学コミュニティ福祉学部兼任講師（「障害と開発」）、東京女子大学非常勤講師（「ダイバーシティとコミュニケーション」）などを勤める。

2023年11月26日10:00～11:30：失語症当事者の講演（ZOOM開催・立命館大学生存学研究所共催予定）

研究会の参加にご関心のある方：gr0401xf@ed.ritsume.ac.jp（澤岡友輝）

